



ソフトウェア・リリース・ノート

Genelec Loudspeaker Manager GLM 4™

ソフトウェア・バージョン 4.2.2

GENELEC®

ソフトウェア・リリース・ノート

GLM 4 バージョン 4.2.2 (Mac / Windows)

GLM 4 ソフトウェアは、Genelec SAM モニター/サブウーファースのユーザーに、モニタリング・システムの優れた接続性/設定/制御を提供し、設置場所における不要な音響的影響を最小限に抑えることを可能とする強力なキャリブレーション・ツールです。GLM 4.2.2 は、新機能やいくつかの重要なバグ・フィックス、ファームウェア・アップデートが含まれる GLM 4 の無償アップデートとなります。

GLM 2、GLM 3 および GLM 4 すべてのユーザーに強くお勧めします。

本アップデートで提供されるすべての新機能とバグ・フィックスを利用するため、GLM ソフトウェアを最新版にアップデートし、GLM 4.2.2 内でアップデート可能なすべての機器のファームウェア・アップデートを行ってください。

システム要件

	Windows 10 – 11 (64-bit)	macOS 10.11 – 12.0.x Intel CPU	macOS 11.0 – 12.0 Apple Silicon CPU
GLM 4 と Cloud AutoCal 2 を 使用する場合	○	○	○ (要 Rosetta)
Local AutoCal を使用する場合**	○	○	×
ディスク・スペース	最低 2 GB		
インターネット接続	<ul style="list-style-type: none"> 以下の動作にはインターネット接続が必要です。 GLM ソフトウェアのダウンロード* Cloud AutoCal 2 を使用するキャリブレーション** Local AutoCal パッケージを最初に使用する際のマイク・キャリブレーション・ファイルの自動取得 		

* ダウンロードリンク：www.genelec.jp/glm/

** インターネットに接続されていない環境にて GLM を使用する場合は、ダウンロード・ページより別途「Local AutoCal (バージョン 1)」をインストールしてご利用ください。

GLM バージョン 4.2.2 の改善点

- 最大レベル制限について、ボリューム・レベルをタイピングで入力した際の問題を修正しました。
- 82xx のファームウェア・アップデートに関する不具合を修正しました。

GLM バージョン 4.2.2 に含まれる新ファームウェア

8320A のファームウェア・アップデート

- 8320 での ISS (Intelligent Signal Sensing) の問題を修正しました。

7360A、7370A、7380A、7382A のファームウェア・アップデート

- 7360A、7370A、7380A の起動時のノイズを修正しました。

GLMバージョン4.2.1の改善点

- 83xx モニターの Notch 1+フィルターに関する Acoustic Editor の問題を修正しました。
- GLM 3 のセットアップ・ファイルを GLM 4 にインポートする際の問題を修正しました。
- SE7261 サブウーファー・システムのマルチポイント・キャリブレーションに関する問題を修正しました。
- SE モニターのスイープ・ジェネレーターの問題を修正しました。
- Local AutoCal (Version 1) が有効になりました。(Mac OS 11.0 – 12.0 Apple Silicon CPU は除く)
- GRADE レポートの相対レベル補正の不具合を修正しました。
- 9310A の AES/EBU チャンネル選択で、デジタル入力モードが保持される問題を修正しました。
- GLM セットアップ・ファイル作成時のベースマネージメントの初期設定に関する問題を修正しました。
- グループプリセットを追加／編集する際のマスター・ボリュームの問題を修正しました。
- GRADE レポートのスカンジナビア文字の扱いを改善しました。
- GRADE レポートのテキスト／イメージレイアウトを改善しました。
- GRADE レポートの -6dB Low cut-off point の問題を改善しました。

GLMバージョン4.2.1に含まれる新ファームウェア

8331A、8341A、8351B、8361A のファームウェア・アップデート

- デジタル・オーディオ入力の初期化に関する問題を修正しました。
- 起動時のシステム・パフォーマンスが向上しました。

8320A、8320A、8340A、8350A、1032C、S360A、6040R のファームウェア・アップデート

- 15 kHz 以上の周波数レスポンス測定とシステム・パフォーマンスの精度が向上しました。
- 起動時のシステム・パフォーマンスが向上しました。

7350A、7360A、7370A、7380A、7382A のファームウェア・アップデート

- Sum 入力と LFE 入力の信号同期の精度が向上しました。
- 起動時のシステム・パフォーマンスが向上しました。
- 7382A と GLM のレベルメーターの欠落を修正しました。

SAMモニター、サブウーファー、GLMアダプターのファームウェア・アップデートについて

ファームウェアのアップデートは、SAM システムが GLM の最新バージョンに含まれるすべての機能をサポートしたうえで、システムとキャリブレーションを最良の状態かつ最高のパフォーマンスで継続して機能させるために必要です。アップデートされていない製品がシステムに含まれると、ファームウェアのアップデートを提案することがあります。アップデートの有無を確認するには、以下の説明をご覧ください。以下の手順に従い、アップデートが可能であるかをご確認ください。

ファームウェア・アップデートは、GLM ソフトウェアの Info ウィンドウで利用できます。アップデートの確認と実行の手順は、システム・セットアップを以前に実行したことがあるかによって異なります。

ファームウェアアップデートの手順 - 少なくとも一度システムのセットアップを完了しており、そのセットアップが現在アクティブなユーザーの場合

- GLM ソフトウェアのメイン・ページで各モニター、サブウーファー、ネットワーク・アダプター・アイコンを右クリックし、「Info.」を選択すると、情報ポップアップ・ウィンドウが開きます。
- 「Firmware Version」の情報欄を確認します。アップデートが可能な場合は、「Update」ボタンが表示されますので、ボタンを押してファームウェアをアップデートしてください。
- **機器がオンラインに復帰するまでお待ちください。通常 1 分以内に完了します。**
- 以上のプロセスを、GLM ネットワーク上のすべてのモニター/サブウーファーで繰り返し行います。

ファームウェア・アップデート手順：初めて GLM を使用してセットアップを行うユーザーで、システムのセットアップが完了していない場合

- GLM アダプターをコンピューターとモニター/サブウーファーに接続します。
- GLM を起動し、システムレイアウトを作成してください。
- グループを定義してください。
- AutoCal と AutoPhase をスキップしてください（キャリブレーションせずに「AutoCal のスキップ」「AutoPhase のスキップ」ボタンを押してください。AutoPhase の画面は、システムレイアウトにサブウーファーが含まれている時のみ表示されます）。
- セットアップを任意の名前で保存します。メイン・ウィンドウが開きます。
- GLM ソフトウェアのメインページで、各モニター、サブウーファー、ネットワークアダプターのアイコンを右クリックし、「info.」を選択して、情報ポップアップウィンドウを開きます。
- 「Firmware Version」の情報欄を確認します。アップデートが可能な場合は、「Update」ボタンが表示されますので、ボタンを押してファームウェアをアップデートしてください。
- **機器がオンラインに復帰するまでお待ちください。通常 1 分以内に完了します。**
- 以上のプロセスを、GLM ネットワーク上のすべてのモニター/サブウーファーで繰り返し行います。
- グループを選択後、「グループプリセット」>「編集」メニューを選択してアコースティック・キャリブレーションを行います。

2022年11月4日

詳細について

GLM ソフトウェアのオペレーティング・マニュアルの閲覧、その他詳細につきましては、www.genelec.jp/glm/をご覧ください。ご不明な点がございましたら、お気軽に下記よりお問い合わせください。

株式会社ジェネレックジャパン カスタマー・サービス

www.genelec.jp/customer-service/

株式会社ジェネレックジャパン
www.genelec.jp

Genelec Document D0203R002e-01. Copyright Genelec Oy & 株式会社ジェネレックジャパン 2022年11月
すべてのデータは予告なく変更する場合があります。

GENELEC®